

一般財団法人 岐阜市にぎわいまち公社
平成24年度 業務報告書
(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(1) まちづくり活動支援事業

住民主体のまちづくり活動の支援と育成を主要な目的として以下の業務を行った。

①まちづくり活動支援業務

ア. まちづくり活動の支援及び育成に関すること

A. 岐阜市内で一定地域における「まちづくり」を積極的に推進しようとする次の2団体に、広報誌の発行・イベント・講習会、セミナーの開催等活動経費の一部助成金を交付した。

- ・「井の口まちづくり会（岐阜市景観形成市民団体）」
- ・「日ノ出町商店街振興組合」

B. まちづくり組織へのアドバイザーの派遣業務

まちづくりに関する各種専門家をアドバイザーとして27名登録をし、派遣実績は次のとおりであった。

- ・問屋町西部北街区再開発研究会 5回

C. まちづくり相談業務

まちづくり活動団体や、地域のまちづくり・景観形成に積極的に携わる個人からの相談に対して適宜対応した。

また、各種まちづくり団体の活動に参加し、情報提供・情報交換を行った。

(主な活動参加団体)

景観形成市民団体(加納・伊奈波・鶯飼屋・川原町・井の口)

景観サロンなど

イ. まちづくりの推進、啓発及び情報の提供に関すること

A. パンフレット等まちづくり啓発資料の提供

広報誌やホームページなどを活用し、まちづくりに関わる情報の発信を行い、啓発に努めた。

- ・にぎわいまち公社だよりの発行

第30号・第31号・第32号・第33号を各1,000部作成し、配布した。

B. まちづくり事業に関すること

市民に、地域に存在する魅力あるヒト・モノ・コトに触れてもらい、知識を得、理解を深め自分の地域のまちづくりを進めてもらえるよう、下記の2つの事業を行った。

- ・まちづくりリーダー養成講座の実施

まちづくり活動を円滑に進めるための手法や事例の紹介、解決策の検討、進め

方の理解などを、講義やワークショップを通じて実践的に学ぶ講座を実施した。

平成24年度は、「岐阜まちづくりコーディネーター養成講座～つなぐ人カレッジ～」という名称で年4回実施した。

- ・僕と私の岐阜まちづくり（わがまち探検マップコンクール）事業の実施

テーマ：「見つけよう！あなたのまちのあんなこと　こんなこと」

子供たちが 自分の目でまちを見、まちを知り、まちを表現することにより、自分がまちの一員 であるという意識を抱くきっかけづくりを目的として、小中学生を対象に、自分たちが住んでいるまちの絵地図の募集を行った。応募件数は、49件であった。平成24年10月27日（土）にハートフルスクエアG2階交流サロンにて最終選考会及び表彰式を実施した。

ウ. まちづくりの調査研究及び情報の提供に関すること

- A. 他都市事例等まちづくりに関する資料収集に関すること

- ・埼玉県川越市視察研修

歴史的なまちなみの保存・活用による景観まちづくりの事例や手法の学習、先進地の取り組みを現地調査を通して、岐阜市で活用できる方策について検討するため現地視察を行った。

- B. まちづくり事業の制度・手法の調査研究に関すること

- ・都市デザイン実務講習会への参加（東京都）
- ・いきいきセミナー ～これからの協働をめざして～

「市民活動が元気になる仕掛けを創ろう」への参加（岐阜市）

- ・「官民協働による景観まちづくり勉強会」への参加（名古屋市）

- C. まちづくりの情報の提供に関すること

- ・「にぎわいまちサロン」および「まちづくりライブラリー」の開設と管理
- ・ホームページの管理
- ・ラジオやテレビ放送等を通じた情報の発信

エ. ぎふ景観まちづくりファンドに関すること

歴史的景観の形成に係る民間のまちづくり事業に対して助成を行うことにより、市民の景観形成に対する意識と岐阜の歴史的景観を守り育て、岐阜ならではの個性豊かな美しいまちなみを後世に継承していくことを目的として実施した。平成24年度の事業承諾件数が7件、助成件数については、4件であった。（平成23年度までに承諾し、完成した事業を含む）

事業の啓発として、簡易パンフレットの作成・啓発イベント（岐阜まちフォトコン）の開催を実施した。また、広報紙やホームページにおいてもPRをした。

オ. 低炭素型まちづくり活動の支援・啓発に関すること

地球温暖化対策として、岐阜市内の太陽光発電の普及を目的とし、市民の設置した太陽光発電分を自家消費にあて、低炭素型社会に貢献するとともに、国内クレジ

ットの普及を背景として、太陽光発電の自家消費分を国内クレジット化し、低炭素型社会のまちづくりの実現に向けた市民の思いを寄附という形で還元するという社会貢献の新たなあり方の構築を期待するものであり、当社は、排出削減共同事業者として、市・市民との三位一体による新たなまちづくり構築を目指した。

平成24年度国内クレジットの認証クレジット量は64t-CO₂であり、当社を通して、企業等と取引し、「ぎふし減CO₂倶楽部」は売却益を「元なぎふ応援基金」へ寄付された。

カ. その他まちづくりに関すること

「官民協働による景観まちづくり勉強会」の事例発表を通じて、当業務の活動をアピールした。

②まちなか歩き回廊推進業務

「岐阜市まちなか歩き構想」にもとづき、歴史ある岐阜の魅力に接し、心の豊かさを感じられる空間「まちなか歩き回廊」、「スマートウエルネスシティ」の実現に向け、広域にわたる、まちなか歩き・まちなか観光の推進を主要な目的とし、次の事業を実施した。

ア. まちなか歩き回廊に関する調査研究に関すること

A. 歩行者交通量調査

まちなか歩き構想の対象地域である長良川右岸地区・金華地区・加納地区に係る歩行者交通量を把握し事業成果の検討に活用するため春季と秋季の年2回実施した。

イ. まちなか歩き回廊に関する情報の収集及び提供に関すること

岐阜市の既存観光情報をスマートフォンで利用可能なシステム構築の検討を行うことを目的として、岐阜工業高等専門学校と委託研究を行った。

ウ. まちなか歩き・健幸等のイベント実施に関すること

A. 健幸ウォーク

スローライフ・スローツーリズムの一環として、一方で道路や案内板等のハード整備が進められる中、本物を感じられる歴史・文化等により物語性を創出し回遊性を高め、またスマートウエルネスシティを目指すことを目的としたイベントを地域住民の協力を得て実施した。

- ・信長公と鶺鴒を巡るまちなか健幸ウォーク
- ・まちなか歩きクイズウォーク

③岐阜公園総合案内所運營業務

岐阜市民や岐阜市を訪れた人が、岐阜の歴史や文化等を感じながら「まちなか歩き」を楽しむことが出来るよう、専門知識を持つ職員による、情報発信・案内を行った。

(2) 中心市街地活性化事業

①中心市街地整備推進機構としての役割

平成18年8月11日に岐阜市から指定を受けた「中心市街地整備推進機構」とし

て、都市機能の増進を図り、「中心市街地活性化協議会」の構成員として法定協議会にも参画し、「第2期 岐阜市中心市街地活性化基本計画」に基づき以下の事業の推進に努めた。

②回遊性やにぎわい創出事業

柳ヶ瀬における、にぎわい創出、推進をはかる事を目的とした下記の業務を実施した。

ア. まちなか文学散歩プロジェクト推進事業

- A. たなばたまつり 2012 in やながせ
- B. 岐阜まち物語 第7幕
- C. クリスマスカざり 2012 in やながせ

イ. まちの魅力づくりプロジェクト推進事業

A. 柳ヶ瀬プロデュース推進事業

柳ヶ瀬の賑わいを創出するため、柳ヶ瀬まちなか写真館プロジェクトを継続実施し、「柳ヶ瀬まちなか写真館」の写真をまちづくり活動へ円滑に利用できるように、写真のデータベース化を実施した。

③中心市街地建て替え促進事業

中心市街地のまちなか居住を推進するため、建て替えに関する権利者との相談業務及び建て替え促進の意識啓発業務を実施した。

④情報発信拠点整備事業（柳ヶ瀬あい愛ステーションの運営）

まちなか情報発信交流拠点「柳ヶ瀬あい愛ステーション」を企画運営した。ラジオ放送などを活用した情報発信機能、まちなかギャラリーやサロンなどの交流拠点機能、まちのコンシェルジュや、各種サービスの公益的機能をもつことにより、商業の活性化、にぎわいの創出に努めた。

⑤柳ヶ瀬にぎわい創出事業

小学生が商店街について学習する社会見学等の受け皿として、柳ヶ瀬の店舗の魅力や特徴を体験・理解するための柳ヶ瀬ファンづくり事業「社会見学プログラム『柳ヶ瀬商店街探検隊』」を商店街と協働して実施した。

⑥中心商店街活性化プロデュース事業

A. 商店街活性化プロデュース業務

中心商店街活性化に関する具体的かつ実務的ノウハウを有するプロデューサーを選任し、商店街関係者等と連携し中心商店街の活性化を図ることを目的とし、商店街活性化プロデューサー活動計画に基づき次の通り実施した。

- 1) 柳ヶ瀬商店街の活性化と回遊性を高めるための事業
 - ・ジュラシックアーケード 2012 のプロデュース
- 2) 空き店舗の利活用に関する仕組みの企画立案及び実施について
 - ・美殿町「まちでつくるビル」の企画・運営・支援

3) その他の活動

- ・柳ヶ瀬集会コーディネート
- ・教育実践ショップ構想（市商連）への参加
- ・日ノ出町商店街振興組合のまちづくり憲章づくりへの参加
- ・地元柳ヶ瀬商店街等の事業・会議・セミナーへの参加

B. 空き店舗活用に関する業務

- ・中心商店街における空き店舗調査の内容精査及び報告書作成。（年4回）
- ・WEBを活用した中心商店街における空き店舗情報の充実
- ・出店希望者に対する、空き店舗物件の詳細情報の提供
- ・空き店舗ツアー・出店希望者相談会の実施
- ・柳ヶ瀬地区空き店舗数対象地域全数調査
- ・岐阜市空き店舗活用ガイドの編集作業

C. 商店街の創業促進事業

美殿町商店街「まちでつくるビル」プロジェクトとして（株）全国商店街支援センターへ応募し、採択を受け実施をした。その内容としては、美殿町商店街において「中・大規模空き店舗物件を対象に、フロアを小割して、個人を中心とする創業希望者に貸し出すための仕組み」や「事業の実施体制」づくりをし、開業支援への実践取り組みを行うもの。

⑦ レンタサイクル管理業務

A. 自転車を近距離交通の一つとして、市民及び本市を訪れた方に利用に供し、市民の健康増進並びに街のにぎわい及び観光等のまちづくりの促進を図ることを主な目的として、市内5か所のレンタサイクルポート（JR岐阜駅南口・岐阜市役所南庁舎・岐阜公園・鶺鴒観覧船のりば・長良川うかいミュージアム）の管理運営業務を行った。なお、岐阜公園ポートに次いで、平成24年度からJR岐阜駅南口ポートにおいても、子ども用自転車のレンタサイクルを開始した。レンタサイクル管理台数は110台、1日平均利用台数は41台であった。

B. 自転車を近距離交通の一つとして、柳ヶ瀬を訪れる方の利用に供し、市民の健康増進並びに柳ヶ瀬のにぎわいの創出を図ることを主な目的として、平成24年8月まで、柳ヶ瀬レンタサイクルポート及び柳ヶ瀬駐輪場運営管理業務を行った。レンタサイクル管理台数は10台、1日平均利用台数は1台であった。

(3) 駐車場指定管理事業

岐阜市駅西駐車場及び岐阜シティ・タワー43地下駐車場の指定管理者として管理運営業務を実施した。

また、岐阜市駅西駐車場にて岐阜駅北口の団体バス乗降場の緊急故障の対応を実施した。